

令和8年4月24日
産業労働部産業立地課

GX戦略地域の「有望地域」に選定されました

経済産業省が「新たな産業クラスター」の創出に向けて創設し、地域選定中の「GX戦略地域制度」について、一次審査の結果が公表され、③類型「脱炭素電源活用型（GX産業団地）」に申請中の県内3地域がいずれも「有望地域」に選定されました。

今後、夏頃を目途に、GX戦略地域の認定が行われる見込みです。

記

1 制度概要

- ①～③類型では、自治体及び企業が計画を策定し、参画した上で、国が地域を選定し、支援と規制・制度改革を一体的に措置する。
- ④類型では、国が脱炭素電源を活用する事業者を支援する。

選定区分	類 型	公 募 期 間
地域選定	① コンビナート等再生型	令和7年12月23日から 令和8年2月13日まで
	② データセンター集積型	
	③ 脱炭素電源活用型（GX産業団地）	
事業者選定	④ 脱炭素電源地域貢献型	令和8年夏頃開始

※ 制度の詳細は経済産業省ウェブサイトをご確認ください。

https://www.meti.go.jp/policy/energy_environment/global_warming/gx_strategy_area.html

2 申請概要

申請主体	地 域	面積	申 請 概 要
新潟県	聖籠町 新潟東港ゴルフ場跡地	140 ha	脱炭素エネルギー供給企業及び大口需要企業の集積による日本海側最大級のGX産業クラスター形成
新潟県・小千谷市	小千谷市 <small>ちや</small> 千谷工業団地等	23.1ha	周辺の脱炭素電源を活かしたデータセンター等の立地と、その排熱の養鰻や道路融雪等への活用
柏崎市	柏崎市 <small>くじらなみ</small> 鯨波産業団地	13.6ha	将来的な原子力発電の活用を含む脱炭素電力の安定供給を実現するGX産業団地

本件についてのお問い合わせ先
産業立地課長 長沼
(直通) 025-280-5246 (内線) 2420